

内容 (原文)	<p>大多喜町も若者の転出が多く、1度町外に出たら戻ってこないのが多数です。</p> <p>それには、雇用がなかつたり、地元に魅力がなかつたり、地元に残れば消防団等の勧誘があるのも、1つの要因になっているのではないですか？</p> <p>消防団についてですが、昔のように同級生が沢山いて、みんな一緒だから、自分も入るのが当然のようでしたが、今は入団るのは先輩とのつき合い等、1人で入団は若者にとっては苦痛のようです。</p> <p>勧誘も強制は出来ないですから。</p> <p>消防団は地域を守る大事な存在ですが、これから先、少子化で人口が増える見込みがなくて、消防団の存続も危機的です。</p> <p>西畠、老川地区に消防署の分署を作っていただけないでしょうか？</p>
回答	<p>消防署の分遣所設置に係る要望につきましては、人命に関わることであることから、本町としても救急対応できる分遣所の設置が望まれますが、分遣所庁舎の整備、救急車両の整備、人件費等をはじめとする維持管理費が増大することになります。</p> <p>本町の広域常備消防負担金は令和6年度決算では2億3千1百万円余りの負担をしており、今年度予算では2億4千9百万円余りの負担と年々、負担額が増加している状況です。</p> <p>分遣所の設置につきましては、夷隅郡市広域市町村圏事務組合の事務となりますので、分遣所を設置するとなれば、新たな施設の整備等の負担や職員の確保が必要となります。</p> <p>また、夷隅郡市広域市町村圏事務組合を構成している他の市町からの理解を得る必要があるため、本町だけに分遣所を設置することになりますと、非常に難しい現状ですので、ご理解いただきたいと思います。</p>